



3テスラ

※「テスラ」とは磁力の単位を表す言葉です

MRI検査装置導入

MRI検査は磁石のちからを利用した画像検査です。X線(放射線)を使わないため被ばくの心配がなく身体や血流などの情報を得て診断をおこなうことができる検査です。

新しいMRI装置のメリット



新しいMRI装置 SIGNA™ Hero3.0T

●きれいな画像

磁力が強い装置になったことで今までよりもきれいな画像が撮影できるようになりました。当院では「3テスラ」(診断で使用できる最も強力な磁力)の装置を導入しました。

●肝硬変(肝臓の線維化)の早期発見に貢献

脂肪肝などの肝臓の硬さを計測する“肝MRエラストグラフィ”という検査ができるようになりました。



肝MRエラストグラフィ検査の様子

●心をリラックスさせる開放的な検査空間

検査室の壁や天井にとっても大きな風景モニターを設置することで心をリラックスさせ、解放感溢れる検査空間になりました。

お子さまからお年寄りの方まで皆さまに安心して検査を受けていただけます。



●AI(人工知能)の利用

人工知能を利用した新しい撮影技術を使うことで、きれいな画像を得たり検査時間を短くすることにつながります。(※画像診断を行うAIとは異なります。)

●撮影中の負担が軽減する“エアークoil”

エアークoilとよばれる「掛け布団」のように柔軟性のある軽量化されたコイル(体から発せられる信号を受信する機械)になったことで、患者さまの負担が軽減できます。(通常は、おなかなどの検査をする時に、コイルとよばれる硬くて重たい装置をおなかの上に乗せて検査をおこないます。)

また、あお向けで検査ベッドに寝られない場合でも、楽な姿勢のままで柔らかくなったコイルをかぶせて検査をおこなうことができます。

